

# 月報・日本から発信！

## 10月号の内容

### 「情報発信プラットフォーム」(9月)掲載の主要論文の要旨

#### 日本の新たな政治とその世界規模での安全保障の役割

佐藤洋一郎 (アジア・太平洋安全保障研究所)

支持率が20%を下回った麻生太郎首相が、衆院の解散を宣言した。民主党は支持基盤を固め、今月末に行なわれる衆院総選挙で過半数を超えるだろうと予測されている。政府の政権交代の可能性は、日米関係の含意と日本の世界での安全保障の役割についての議論を引き起こしている。与党の自民党が政権から退くことによって、日本の外交と安全保障政策の方向性、あるいは日本の政策の基本的な移行の見込みを最小化する様々な要因、かなりの規模での継続性などにおいて、大きな変化が起きるだろうと期待する専門家もいる。公平にみて、米国の見地からすると、全ての継続性がいいというわけではない。・・・

原文： New Politics in Japan and Its Global Security Roles  
http://www.glocom.org/opinions/essays/20090827\_sato\_new/

#### 民主党とともに現実に戻る

ブラッド・グロッサーマン (CSIS パシフィック・フォーラム)

先月の衆院総選挙における民主党の勝利による熱狂の波は治まったようである。この勝利は日米同盟の終わりを暗示するものでもないし、両国の相互の関係における粗末な継接ぎを必要に意味するものでさえない。実際、外交課題よりも国内政策が、米国との関係に深く影響を与えようである。けれども、同盟関係の平衡を保つことは、次善の策といえる。来年は日米安全保障条約の50周年を記念する年であり、これによって両国はこの同盟関係を真に現代化する機会を得るが、悲しいかな、それはありそうにない。・・・

原文： Back to Earth with the DPJ  
http://www.glocom.org/debates/20090920\_gloss\_back/

#### ビルマ、ウェブ上院議員とウー・ウィン・ティン

デビッド・スタインバーグ (ジョージタウン大学)

ジェームス・ウェブ上院議員の最近のビルマ・ミャンマー訪問は、ビルマ人の民主化運動から攻撃を受けている。そのプロテストは、誠実で明確な意図を持つ一方、ウェブ氏訪問の趣旨を取り違えている。彼がそこに行ったのは現在の軍事政権を賞賛したり、正当化するためではなく、この誇り高き国から、軍事政権を排除し、民主主義の復活を目指した、より効果的な政策を編み出すことを助けようとしたことであった。・・・ウェブ氏の訪問は、この対話の進展を始めるための最初で重要なステップであった。変革とよりよき関係は、ゆっくりと進展しそうであり、両勢力のより段階的で互恵的な行動次第・・・

原文： Burma, Senator Webb, and U Win Tin  
http://www.glocom.org/debates/20090921\_stein\_burma/

#### アジアを忘れるな

ブラッド・グロッサーマン (CSIS パシフィック・フォーラム)

米国は、東ヨーロッパでのミサイル防衛構想を元の状態に戻そうとしている。その判断はヨーロッパでのイランの脅威の新たな査定を反映している一方、ロシアとの関係のインパクトにほとんどの注意が注がれている。けれども、その決断は、アジアにも同様に重要な含蓄がある。それは2つの事実を強調している。第一に、分裂した個々の“戦域”というのは虚構であること、第二に、米国は戦略的政策を発展させるにおいて、アジアの同盟国と緊密に連携しなければならない、という点である。・・・ミサイル防衛は議論の余地のある課題であり続ける・・・

原文： Don't forget Asia  
http://www.glocom.org/opinions/essays/20090921\_gloss\_asia/

#### 情報発信機構とは

「情報発信機構」は、日本をめぐる重要問題について有識者や専門家の意見や討論をグローバルに発信することを使命とする非営利組織。

ウェブ上では情報発信プラットフォーム(www.glocom.org)で、オピニオン、ディベート、ニュースなどを発信、またニュースレターやメールマガジンも定期的に発行。さらにセミナーも毎月開催。

#### 情報発信ニュースレター：編集後記

月報・日本から発信！

月1回発行

発行人・編集長 前田幹博

学校法人国際大学・情報発信機構

949-7277

新潟県南魚沼市国際町777番地

TEL:090-8106-4700

Email:mi3911@hotmail.com

今月は上記4つを主要論文としてアップしました。国際大学は新学期を迎え、40カ国近くの国々から新入生が入学しました。彼ら新入生がよりよき学生生活を送られ、卒業の頃には、より適した職業や進路に恵まれますようにと祈るばかりです。来月もご期待下さい。前田幹博